

図書館だより 第2号



新しい本が入りました！ ※別紙一覧表をご覧ください。

☆特集展示 沖縄返還 50年



美しい写真や沖縄が舞台の小説も多数！

【展示のコンセプト】

沖縄が日本に復帰し、5月15日に50年を迎えました。現在でも、基地問題を含め様々な課題を抱えておりますが、固有の文化や歴史、そして豊かな自然の中で大きな発展も遂げて来ました。とりわけ観光地としての人気は、我が国の中でも突出しております。

今回の展示では、沖縄の歴史を政治・経済・文化・自然などから振り返り、返還50年の節目で改めて沖縄について考える機会となるように、図書館が所蔵する図書・雑誌・新聞記事等を展示してあります。

- ◆ 7月の新着図書が入りました。是非ご利用を！！
- ◆ 夏季休業期間の無制限貸出が始まります。
貸出冊数無制限期間：7月11日(月)～8月31日(水)
返却期限：9月1日(木)
- ◆ 修学旅行コーナーを設置 長崎・佐賀・福岡に関する資料を展示中

7月のカレンダー (変更になる場合があります。)

■ グレーは休館

日	月	火	水	木	金	土
					7/1 期末考査	2
3	4 期末考査	5 期末考査	6 期末考査	7	8	9
10	11 貸出冊数無制限(始)	12	13	14	15	16
17	18 (海の日)	19	20 終業式	21 夏季休業日(始)	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

《話題の図書の中から》



『日本半導体復権への道』
牧本 次生 (筑摩書房)

需給が逼迫するなど、世界で半導体の重要性が高まっている。日本の半導体産業のパイオニアである著者が、半導体の発展の歴史と、日本の半導体産業の盛衰をたどり、現在の日本の持つ強みと弱みを分析し、我が国の半導体産業の復活の道筋を提示する。



『プロ野球 元審判は知っている』
佐々木 昌信 (ワニブックス)

通算2414試合出場のプロ野球元審判が、マスク越しに見てきた超一流のプレーとその舞台裏を70のエピソードを交えて語る一冊。



『サッカー守備解剖図鑑』
岩政 大樹 (エクスレッジ)

元日本代表DF岩政大樹が「守備」を完全図解。第一章では、守備の基礎として最も重要な技術「寄せる・止まる」の原則を詳述、第二章以降は【1対1】【2対2】【3対3】【チームディフェンス】という構成で、試合中の様な場面での守り方について、イラスト付きで解説。「日本人は守備が苦手」と言われる中、小中高生から大人まで広い世代の選手、指導者、サッカーファンにとって参考となる一冊。

『オオルリ流星群』
伊与原 新 (KADOKAWA)

「スイ子」こと山際慧子が故郷へ帰ってきた。太陽系の果ての星を探すため、手作りで天文台を建てるといふのだ。慧子に協力することとなった種村久志ら旧友たちは、28年前の青春の日々に思いを馳せる。だが、やがて高校最後の夏の真実が明らかになり…。迷える大人たちは、切ない過去と、行き詰まった日常を乗り越え、再び前進することができるのか？

《「18歳成人」について考える図書の中から》



『大人になるってどういうこと？みんなで考えよう18歳成人』
神内 聡 (くもん出版)

18歳成人が巻き込まれそうな契約やSNSでのトラブルをQ&Aを交えて紹介。単に「知る」だけでなく、「考える」ことで、大人になる準備が進められるような内容。契約やネットのトラブルを知るだけでなく、「答えない問い」もあり、「大人ってどんな人？」「何歳から大人にすべき？」「少年法のあり方は？」など、正解はなかなか難しい。いじめなどを扱ったコラムや親・先生向けのQ&Aも掲載し、大人になることについて、改めてじっくりと考えさせられる一冊。

『18歳成人になる前に学ぶ契約とお金の基本ルール』
消費者教育支援センター (旬報社)

成年年齢引き下げ・18歳成人により、若年層の消費者トラブルの増加が懸念されている。カードローン、ネット通販、フリマアプリ、マルチ商法など、10代の若者を対象にしたさまざまな「消費の落とし穴」を紹介しながら、契約とお金の基本ルールについて、漫画をまじえながらわかりやすく解説。

『図解超早わかり18歳成人と法律』
南部 義典 (シーアントール研究所)

18歳成年法の具体的な改正内容や引き下げによる今後の課題などを図解を交えて詳しく解説。いま、なぜ18歳成年法なのか、18歳成年法の基礎知識、成年年齢の引き下げ、婚姻適齢の統一、民法にあわせて改正された法律、そして消費者契約法の改正と今後の課題等について紹介。

『津田梅子』
橋本 俊詔 (平凡社)

明治初期に、7歳で日本初の女子留学生として渡米。帰国後、新たな女子教育の必要性を感じ、アメリカの大学で学び直し、女子高等教育の発展に尽くす。良妻賢母が当たり前だった時代に、高等教育を受けた女性がどのような人生の選択を迫られたのか、現代の女性の生き方と照らし合わせながら論じている。

学習支援図書の中から



『高校の情報Iが1冊でしっかりわかる本』
鎌田 高德, 鹿野 利春 (かんき出版)

「情報I」は「情報デザイン」「プログラミング」「データの活用」をツールとして用いることで、「問題を解決する能力」を身につけられる教科。2022年必修化、2025年共通テスト出題が予定される中、この「情報I」の学習について、基礎から応用までを解説。



『バカロレアの哲学「思考の型」で自ら考え、書く』
坂本 尚志 (日本実業出版社)

フランス・バカロレア哲学試験の「思考の型」を駆使した哲学の入門書。「思考の型」を身につけて自ら考え、表現するための実践的な哲学について紹介。

哲学・人文に関心の高い人、ビジネスや組織で「考える」ことの重要性を感じている人におすすめのバカロレア哲学のガイド。